

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2026年度)

専門分野区分	ビジネス基礎	科目名	ビジネスマネジメントⅡ			科目コード	T1630B1			
配当期	後期	授業実施形態	通常			単位数	2 単位			
担当教員名	高岸 義	履修グループ	1F(BI/BO)			授業方法	講義			
実務経験の内容	大学院商学研究科修士課程で学位取得後、会計事務所で約2年間、経理を中心に顧問先の経営支援業務に従事した。その後、大学院商学研究科博士課程で単位取得、研究生を経て、大学、専門学校で約25年、講師としてマーケティング及び経営学分野の科目を担当している。講義においては、理論的な内容だけではなく実務経験を活かして、実践的な内容も含め教授する。									
学習一般目標	ビジネスに関する基礎知識の修得と資格を取得するレベルの実力を身につけることを目標とする。									
授業の概要および学習上の助言	社会人としての常識や会社に関する基礎的な知識を学習することはもちろんのこと、ビジネス能力検定2・3級レベルに合格できるような内容の講義を展開する。さらに、基礎学力向上のための問題も併せて行う。									
教科書および参考書	「要点と演習 ビジネス能力検定ジョブパス2級」実教出版、プリント配布									
履修に必要な予備知識や技能	日頃から、新聞や経済雑誌など読む習慣を身につけ、文章読解力を高めて欲しい。									
使用機器										
使用ソフト										
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が到達すべき行動目標								
	1	ビジネスに関する基礎用語を説明することができる。								
	1/2	正しい理解、表現、判断を行うことができる。								
	1/2	ビジネスの基礎知識を修得し、資格試験の問題に対応することができる。								
	3/5	講義に意欲を持って取り組むことができる。								
	5	基礎的な知識を修得することから、より高度な知識への興味、関心を喚起できる。								
達成度評価	評価方法	試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	学部DP	1.知識・理解	40							40
		2.思考・判断	40							40
		3.態度							10	10
		4.技能・表現								
		5.関心・意欲							10	10
	総合評価割合	80						20	100	
評価の要点										
評価方法	評価の実施方法と注意点									
試験	定期試験期間中に筆記試験を実施する。									

小テスト	
レポート	毎回、簡単な課題を行う。
成果発表(口頭・実技)	
作品	
ポートフォリオ	
その他	授業への出席、取り組みなどを含め総合的に評価する。

授業明細表

授業回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1回	科目概要説明	講義	特になし。
第2回	キャリアと仕事へのアプローチ(1)	講義	適宜指示する。
第3回	キャリアと仕事へのアプローチ(2)	講義	適宜指示する。
第4回	会社活動の基本(1)	講義	適宜指示する。
第5回	会社活動の基本(2)	講義	適宜指示する。
第6回	不満を信頼に変えるクレーム対応(1)	講義	適宜指示する。
第7回	不満を信頼に変えるクレーム対応(2)	講義	適宜指示する。
第8回	接客と営業の進め方(1)	講義	適宜指示する。
第9回	接客と営業の進め方(2)	講義	適宜指示する。
第10回	会議への出席とプレゼンテーション	講義	適宜指示する。
第11回	チームワークと人のネットワーク	講義	適宜指示する。
第12回	仕事への取り組み、仕事の進め方(1)	講義	適宜指示する。
第13回	仕事への取り組み、仕事の進め方(2)	講義	適宜指示する。
第14回	課題解決型授業1	遠隔授業 実施時期:5期	適宜指示する。
第15回	課題解決型授業2	遠隔授業 実施時期:7期	適宜指示する。